

# 留学生の声

塾内在籍高校・学年(派遣時)	慶應義塾女子高等学校 2年
留学先高校名	Shrewsbury School
留学期間	2014年 9月から 2015年 7月まで

## どのようなことを期待して渡航しましたか？

充実した施設や日本ではできない体験をすることを期待していました。また、世界中から集まったレベルの高い生徒たちと同じ教室で学ぶことも楽しみでした。初めての、しかも海外での寮生活ということもあり不安もありましたが、ずっと英語に触れ続けるという経験もしてみたいと思っていました。

## 留学を振り返って

広大な敷地、あふれる自然の中でのびのびと過ごすことができました。スポーツなども日本、特に都会ではなかなかできないような Shooting や Rowing も満喫できました。女子高での一年とは違った意味での楽しさを味わえ、人として内面的に成長できたと思います。また、イギリス人はもちろん、他にも様々な国からの留学生と生活や授業をともにすることで、自分とは違う文化を持つ周りの人と協調することや自分の知らなかった物の見方などを学びました。

## 課外活動について

- ・ Chapel Choir (一年を通して、毎週木曜日と日曜日の練習と毎週日曜日の service、コーラス)
- ・ チャリティショップでのボランティア (最後の2ターム、週一回2時間)
- ・ Rowing (1年を通して週3、4回の午後練習と週2回の朝の筋トレ) : 大会に出場、寮対抗のボートのレースで優勝。
- ・ Tennis (最後のタームのみオプション、週2回練習) : 学校代表チームで他校とも対戦。
- ・ Shooting (最初のタームのみ、週1回の練習)
- ・ Swimming (週1回の午後練習と週2回の朝練) : 学校代表チームで他校とも対戦。
- ・ Dance Society (Pop 音楽等でダンスを楽しむ、週1回)
- ・ Maths Problem Solving Society (週一回1時間) : ここでは数学オリンピック等の高度な問題の解法について話し合う。もともと得意だった数学にさらにこの甲斐もあってか数学で学校内での competition で優勝、数学オリンピック第2ラウンド進出。

## 学校の施設について

天然芝の大きなグラウンドを校舎が囲っている形でした。すべての教室にプロジェクターがありコンピュータを主体として授業をする先生は、私の担当の先生たちにはいませんでしたが、画像や映像をすぐに映し出せる設備があることでより理解しやすい授業となっていました。そして、イギリスならではのクリケットコートやスカッシュコート、ボートハウスに12面のテニスコートなどスポーツ用施設もとても充実していました。また学校内に学校が所有する教会もありました。

## 短期・長期休暇はどのように過ごしましたか？

最初の10月のハーフタームはオックスフォードで以前の友達に会う、語学学校に通い英語の上達を計ることを目的に前のホームステイ先にお世話になりました。それ以外はシュルーズベリーにあるホストファミリーの家でもう一人の留学生と、一緒に過ごしました。とても良くしていただき、ゲストとして以上、家族の一員のような形で迎えていただき有り難かったです。一時は私とその居心地の良さからリラックスしてしまい感謝することを怠ったことで考えの行き違いがあったこともありましたが、きちんと話をし、私の真意を伝えることで最後には良い関係を取り戻すことができました。長い休みには旅行にも連れてっていただき特にイースターに行ったスコットランドは忘れられない思い出です。また私たちも恩返しをしようと何度か日本食を作り、喜んで食べてもらえました。帰った年の夏には日本に家族で遊びにいらしたので、再会を果たし、一緒に食事を楽しみました。

## 授業について

授業の進め方はディスカッション形式を予想していましたが、日本と似ていて主に先生対生徒の講義型でした。しかし日本に比べ質問される頻度が格段に多く、また生徒たちも積極的に間違いを恐れず発言する様子が印象的でした。生徒から先生への質問も授業中に良く出て、そこから話が発展して本流ではない知識を学ぶということもよくありました。また、実験も多く行い、クラスが10人弱なため、一人一人に実験器具が配られ各自で実験することが多かったです。そのためしっかりと内容を理解していないと実験ができないため、より真剣に説明を聞きました。内容は全科目に関してですが日本と同じ内容のところもあれば、イギリスの方が深く扱う部分と日本の方が深く扱う部分がありその違いが面白かったです。イギリスの方が基本的な概念をきちんと扱う分、計算や複雑な式や応用・発展問題等はあまり扱わないような印象です。

## 今後の派遣留学生へのアドバイス

はじめはとても不安でこんなところで十か月もやっているとだろうかと思いましたが、時間が経つにつれて友達もできて、話している内容も徐々に細かいニュアンス等まで分かるようになって楽しくなってきました。みんな自信満々に見えてこんなに弱気なのは自分だけかと思っていましたが、後から聞くとみんなはじめは不安だったそうです。自分だけだと思い込んで孤独に思わず、困ったときは周りの人に素直に打ち明けることで協力を得て解決策が見えてきたり、逆に相手も本当の気持ちを打ち明けてきたりしてくれます。そこをきっかけに友達になれることもあるので積極的に話しかけて行った方が良いと思います。

また、様々な国籍の人がいて最初は戸惑うかもしれません。先入観が先行して、国のイメージで決めつけてしまうこともありましたが、しかし、話してみると、本当に国籍なんてなんの意味も持たないのだと感じました。さらに、日本についての質問に勉強不足で聞かれても答えられない、他の国からの子の方が日本についてよく知っているということがあり恥ずかしい思いをしました。日本の文化や歴史について聞かれることも多いのであらかじめ基本的なことは答えられるようにしておくべきだと思います。

目的意識を持つことも大切です。留学は誰でもできる経験ではなくとても貴重なものです。しかし、留学さえすれば何かが変わるというわけでもありません。環境が変わっても自分がどうなるかは自分の行動次第です。そこからいかに自分が成長できるかということを常に考え、なんとなくぼんやりとした1年を過ごさないことも大切だと思います。

最後に、周りの人へ感謝し続けることです。留学先の人たちもちろん、日本で遠くから応援してくれている人たち、家族や友達も絶対に忘れないでください。10か月という期間を通すと途中で忘れてしまいがちですが、一人ではこの留学は実現できないことを心に留めておいてほしいです。ぜひ、最高の10か月にできるよう全力で頑張ってください。

以上

